

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	社会思想史B		
英文授業科目名	History of Social Thought B		
開講年度	2005年度	開講年次	1、2年次
開講学期	2、4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	赤江 達也		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>社会思想史とは、「社会」をめぐる思考の系譜を歴史的にたどる学問である。とはいえ、社会を思考するという事は、いわゆる思想や学問の領域に限定された営みではない。「私たちは、いかなる社会を生活しているのか」——そう問いかけるとき、すでに、私たちは社会思想史の空間のなかを生活しているのである。</p> <p>この講義では、日本という社会についての思考の系譜を、近代日本における宗教／文学／批評などのテキスト（文書）を素材としながら考察していく。この講義の目標は、（1）私たちが生活している社会思想史の空間の一断面を知るとともに、（2）多様なジャンルのテキストを「社会思想として読む」ための視角と方法を身につけることである。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
社会思想史A

【教科書等】
<p>教科書：必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>参考書：丸山真男『日本の思想』（岩波新書、岩波書店、1961年、735円）の他に、数冊を講義中に紹介する。受講者には、それらのうち一冊を選び、読んでもらう。</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

この講義では、社会思想史の基本的な考え方を説明した上で、具体的なテキストの「読み」を示していく。扱うテキストとしては、芥川龍之介「神神の微笑」、坂口安吾「イノチガケ」、遠藤周作「沈黙」などを予定している。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

- ・参考書から一冊を選び、読んでもらう（読んだことがわかるレポートを提出してもらう）
- ・学期末の論述試験（またはレポート）

評価基準

- ・授業の内容を一定程度理解しており、参考書を読んだことがわかるレポート（または論述試験の答案）を提出したものは、可とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は授業後に受け付ける。

【学生へのメッセージ】

【その他】